

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大・ブランド向上

固形梅塩を摂取した「知床牛」の加工品等の開発・販売

固形梅塩を摂取した「知床牛」の加工品等(ハンバーグ、空弁等)を開発し、百貨店、道内宿泊施設、航空関連会社等の販路開拓を行う。

➤ **連携体**

農林漁業者 (株)カネダイ大橋牧場 (農業)

固形梅塩を摂取させた「知床牛」の肥育に取り組む。

中小企業者 (有)大空FARM (飲食料品卸売業)、(同)味噌精肉店(食料品製造業)

(有)大空FARMは、固形梅塩を摂取した知床牛を使用して、空弁・ギフト等の商品開発を行い、百貨店や空港等で販売する。
(同)味噌精肉店は、固形梅塩を摂取した知床牛を使用して、ハンバーグ等の加工品の開発・製造を行う。

連携参加者 (有)兼本印カネホン水産(食料品製造業)

固形梅塩を製造し、(株)カネダイ大橋牧場に供給する。

サポート機関等 地域活性化支援事務局

➤ **連携の経緯**

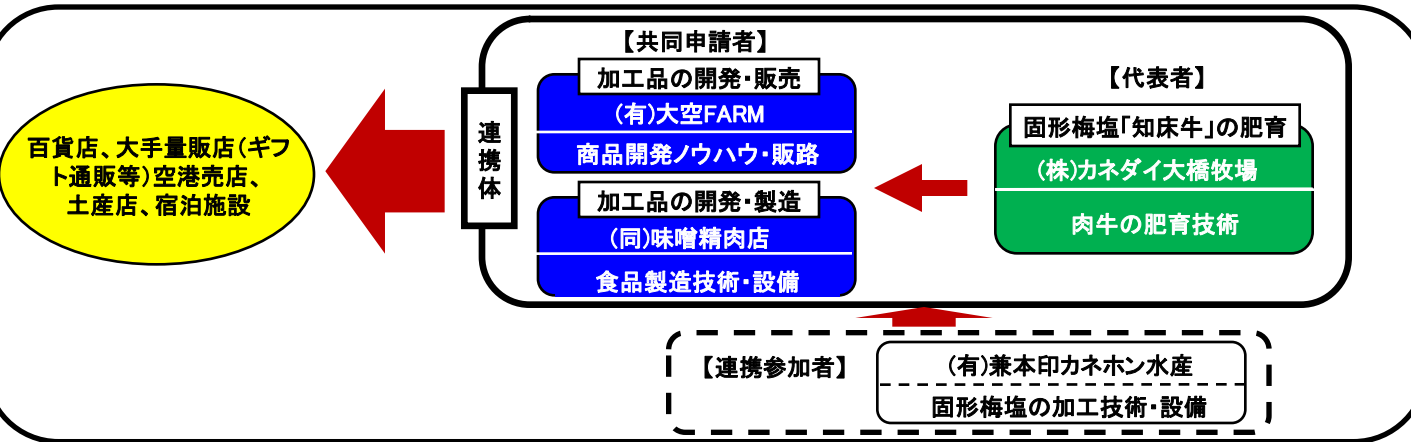
(株)カネダイ大橋牧場は、「知床牛」に固形梅塩を摂取させ、国産和牛との差別化を図り、加工品の販路拡大により知名度向上を模索していた。

一方、(有)大空FARMおよび(同)味噌精肉店は、新たな商品開発が経営上の課題となっていたことから、三者が連携して新商品を開発することとなった。

➤ **連携に当たっての課題や工夫等**

(株)カネダイ大橋牧場は、固形梅塩を摂取させた牛の肉質を検証し、肥育手法を確立する。

新商品の販売戦略に関しては、共同申請者の既存販路以外への拡大を目指して、販売先に向けた企画提案を実施する。



➤ **連携による効果**

農林漁業者 4年で約5.9億円の売上高増加、肥育頭数200頭増、「知床牛」ブランドの確立

加工品等の開発により、肥育頭数を増加させるとともに、知名度向上が図られ、販売価格上昇・売上増加が期待される。

中小企業者 4年で約3,200万円の売上高増加(大:1,050万円、味:2,180万円)、販売品目の増加

(有)大空FARMは、新たなギフト・観光需要向け商品の開発により販路が拡大し、売上増加が期待される。

(同)味噌精肉店は、製造・販売品目の増加により、売上増加が期待される。

➤ **代表企業等の連絡先**

企業等名：株式会社カネダイ大橋牧場 所在地：北海道網走郡大空町東藻琴38番地1
 TEL：0152-66-2661 FAX：0152-66-2319
 E-mail：ohashi5@beige.plala.or.jp ホームページ：http://www.shiretokogyu.com/